



飛騨っ子



令和5年8月28日発行 NO5
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口悟
[TEL: 0577-33-1111](tel:0577-33-1111) (内線 235)
[E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp](mailto:mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp)

集まることは、楽しい！



◇ 子育て交流会 ～〇〇なこと、聞いてみたい～ 学校行事参加型+サロン型 家族の大切さ



< 子育て交流会 >

○主催:下呂市上原小学校 PTA ○期日:令和5年6月30日
 ○会場:下呂市立上原小学校 ○対象:全校の保護者

コロナ禍の対応が和らぎ、授業参観や学級懇談会に合わせ、全保護者を対象に子育て交流会を開催しました。役員の方々が事前アンケートを丁寧にとり、内容の充実に向け取り組みました。アンケートに書かれている内容は、子育てであるあるで実に楽しい！久しぶりに賑やかな雰囲気が戻り、話したいことは盛りたくさん！教科書がない子育て・・・「こんなこと聞いても大丈夫？」という気

持ちを越えてつながることが楽しい。子育てを通してつながる仲間への存在は、とても大切です。仲間と交流することで子育ての楽しさが広がり、不安や悩みが和らぐ時間となったら最高です！

□ 事前アンケートの内容 (部会だより)

<家事・育児について>

- ・お勧めのお出かけスポットは？ ・お勧めのお休みの日の過ごし方は？ ※1)親のストレス解消法は？
- ・子どもが一番好きなおかずは？ ・食費を節約するテクニックは？

<子どものお金について>

- ・子どものお小遣いはいくら？ ・お手伝いの報酬はあげたりする？ ※2)子どものお小遣いはどうしてる？

<学習・学校生活について>

- ・宿題を早く終わらせるには？ ・宿題は自主的にやる or 親が声をかける？ ・ハンカチ&ティッシュはポケットに収まる？ ※3)中学校に向けて、小学校からやっておくとよいことはある？

□ 交流に参加して (部会だより)

- ・久しぶりに集まって交流ができてよかった。 ・先輩方にいろいろと聞いてよかった。
- ・悩み相談もできて有意義な時間だった。 ・他の方ともっと話したかった。
- ・それぞれの家庭での話が聞いて楽しい時間だった。 ・お弁当、美味しかった！
- ・勉強方法や声掛けについて、それぞれの家庭でも工夫しているんだなど知れた。

※1) 趣味に没頭する・他の誰かに聞いてもらう・好きなドラマを観る・カラオケなど

※2) 頑張ったときにご褒美で・祖父母にもらったお金で・あげていない(あるだけ使ってしまうので)

※3) お金がすごくかかるので小学生のうちから貯金!(制服 修学旅行 教材など)

◇ 星空観察会・校内ナイトツアー 学校行事参加型 自立心



<星空を想像する親子>

○期日：令和5年7月7日 ○会場：飛騨市立神岡小学校
○対象：4年生の親子 ○主催：4年生学級委員



親子で夏の夜空を楽しもう!

「今の時代とは違って、昔はスマホもTVゲームも無かったんだよ。夜空を見上げ星と星をつなぎながら、物語を想像することが楽しみの一つだったんだよ」講師(星の会・飛騨コスモス)の方が、親子に語りかけます。残念ながらこの日は曇天で、天体望遠鏡を覗いて観察する体験はできませんでした。しかし、参加した親子はまるで当事者になったような気持ちで、プロジェクターの画面とお話に吸い込まれていきます。天の川の中に夏の大三角形が見えること、白鳥座のくちばしの星(アルビレオ)がとてもきれいなこと、さそり座の中心にある赤い星(アンタレス)はさそりの心臓を表していること、大ぐま座と子ぐま座のしっぽはなぜ長いのか等々、楽しい夜空のお話が続きました。子どもたちは、学校で学習した内容と重ね合わせながら、お父さんやお母さんと夏の夜空の物語を楽しんでいました。(家庭教育推進専門職)

親子で天体についてじっくりと話を聞く機会はなかなかないと思うので、とてもよい企画だと思いました。子どもたちは授業で学んだことの復習になったり、保護者は学校で学んでいることが分かったり、タイミングもバッチリ。企画だけでなく、使用するカードや全保護者に配布する案内文書まで委員のみなさんが作成しているとはびっくりでした。すばらしい!(飛騨市生涯学習課 担当)

親子で天体についてじっくりと話を聞く機会はなかなかないと思うので、とてもよい企画だと思いました。子どもたちは授業で学んだことの復習になったり、保護者は学校で学んでいることが分かったり、タイミングもバッチリ。企画だけでなく、使用するカードや全保護者に配布する案内文書まで委員のみなさんが作成しているとはびっくりでした。すばらしい!(飛騨市生涯学習課 担当)

◇ ^{てんがいざん}天蓋山 親子登山 学校行事参加型+体験活動参加型 自立心 思いやり 家族の大切さ



<達成感をともにする親子>

○期日：令和5年7月22日
○会場：天蓋山(てんがいざん 1527m)
○対象：山之村小中学校全校の児童・生徒・保護者
○主催：飛騨市立山之村小中学校 PTA



親子で登山を楽しもう!

PTA会長さんにお聞きすると、隔年で親子デイキャンプと親子登山を実施しているとのことでした。今年度は、天蓋山への新しいルートが整備されたこともあり、全校の親子で登山に挑戦することとなったそうです。達成感や満足感、我慢することや挫折感を親子で共有できることはとても貴重です。一家庭だけでは実現が難しいことも、仲間と一緒にあれば、「よし、やってみよう」という気持ちにつながることもあります。山之村小中学校が取り組まれている親子登山は、その貴重な取組の一つです。親も子もいつも調子のよいときばかりではありません。辛抱や我慢と向き合わなければならない時もあります。我慢の時間を乗り越えその先にある達成感を親子一緒に共有できたことが、すばらしい! 山頂では、ドローンによる記念撮影をしました。宙に浮かぶドローンの向こうは、360度見渡す壮大な展望。天蓋山登山を通して親子で一緒に見たもの・感じたことを大切にしてほしいと思います。(家庭教育推進専門職)

少し疲れてきた子どもに労いの言葉をかける保護者、反対に疲れてきた親を応援する子どもといった、登山ならではの親子の声のかけ合いがとてもよかったです。また、親子のやりとりだけでなく保護者同士や保護者と先生、他の子どもとの関わりもたくさんあり、交流の場にもなっているなと感じました。(飛騨市生涯学習課 担当)

少し疲れてきた子どもに労いの言葉をかける保護者、反対に疲れてきた親を応援する子どもといった、登山ならではの親子の声のかけ合いがとてもよかったです。また、親子のやりとりだけでなく保護者同士や保護者と先生、他の子どもとの関わりもたくさんあり、交流の場にもなっているなと感じました。(飛騨市生涯学習課 担当)

◇ 地区ふれあい集会 家族の大切さ 自立心 思いやり



- 期 日:令和 5 年7月24日
- 会 場:谷総合研修センター
- 対 象:五ヶ村地区の保護者
- 主 催:飛騨市青少年育成推進連絡協議会
および飛騨市生涯学習課
- テーマ:子どもの自己肯定感を高めるために
- 講 師:家庭教育推進専門職

<言葉の言い換えって、こんな感じ?>

子育ての肯定感を育む

● 親としての変化
わが子の変化に気づく自分の変化に気づく '幸せ'

= わが子の成長を保護者自身の成長として重ねて捉え、
幸福感につなぐ(子育ての肯定感を高める)こと

保護者みなさん
自身の肯定感を
高めてほしい!

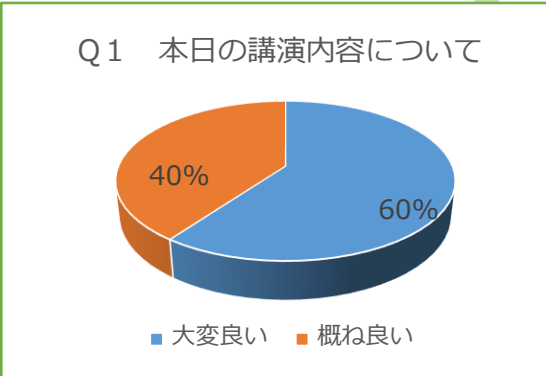
わが子の自己肯定感
を
高める時間

↔

保護者の自己肯定感
を
高める時間

12

- ・子育ては自分の思い通りにはできず、イライラすることもあります。でも、「同じように悩んだり考えたりしている人がいる」と、改めてデータを見て安心しました。もっと子どもを褒めたいと思いました。子育てと同時に自分も成長したいと感じました。
- ・自己肯定感を高めることは、親も子もお互いに良いことばかりなんだと思うことができました。言葉を言換えることで気持ちが楽になることは、すてきだなと思いました。これからも子どもたちとたくさん笑い合って、楽しく過ごしていけるようにしたいです。
- ・子育てについて、ときに夫婦で悩むことがあります。本日の講演を聞いて「自己肯定感を高めること」について、取り組んでみようと思いました。夫婦で話し合う中で、多くのことは、自己肯定することで良くなっていくように思いました。



古川町五ヶ村地区では、青少年推進員さんの提案により、わが子と一緒にいる時間が多くなる夏休みの生活に向け、どんなことを大切にしたらよいかについて研修を行いました。家庭教育を取り巻く現状を聞いたり、リフレーミングという手法を学んだりしながら、自己肯定感を高めるためのヒントを考えました。地域の保護者の方々と一緒に生涯学習課の担当者もワークショップに加わり、研修を盛り上げる姿がとてもすばらしい。担当者曰く「子育てについて、自分の思いや考えを言葉で表す(言語化)ことは、とても大切な時間です」と。参加者皆さんのご家庭にとって、親子ともに肯定感が高まる夏休みになることを期待します。

◇家庭教育学級の実践紹介(岐阜県HP)◇

ぜひとも、参考に!

検索 岐阜県家庭教育

R4 実践例



R3 実践例



◇ 企業内家庭教育研修 馬瀬建設株式会社



<子育てについて積極的に交流する参加者>

○期日:令和5年8月4日 16:00~17:00

○会場:研修室 ○対象:社員16名

○主催:馬瀬建設株式会社

○講師:家庭教育推進専門職

○テーマ:わが子育てを見つめる時間をつくりましょう

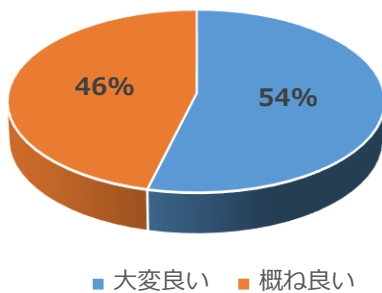
* 岐阜県では、企業内家庭教育研修を推進しています。



家庭でも職場でも元気であることが一番です。そして、不安や悩みを相談できる仲間の存在が大事です。

特に、ワークショップでは、同じ職場の仲間と真剣にまたお互いの子育て・家族観を大切にしながら、男女年齢問わず交流する姿が印象的でした。社員の皆さんが、

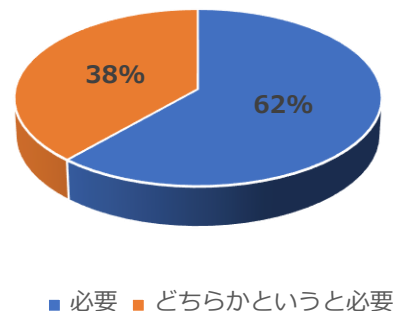
Q1 本日のテーマと内容について



- ・褒めること、認めることの大切さを改めて実感。
- ・子どもや自分の自己肯定感を高めていきたいと思いました。
- ・子育てについて考えさせられました。
- ・言葉を言い換えるだけで、伝わり方が変わることを学ぶことができました。
- ・子どもが小さいときに聞きたかった。叱りすぎたことを後悔しています。
- ・子育てについて見直す機会をいただき、ありがとうございました。

- ・なかなか機会がないので、職場だと調整しやすいと思います。
- ・講演を聞くだけでなく、グループに分かれてお互いに子育てで大切にしていることや捉え方などを知ることができて良かったです。
- ・子どもと向き合うことの重要性を知る良い機会です。また会社の中で家庭教育について学ぶ場があることはすばらしいと思います。
- ・家族円満でないと仕事に集中できなくなるので大切です。

Q2 企業で家庭教育についての研修を実施すること



<主催者の声>

馬瀬建設として初めての試みでしたが、自身の家庭教育を見つめ直す良いキッカケとなったのかと思います。家庭教育研修の第一歩として、わかりやすくまた取り組みやすい内容でした。ワークショップを多く取り入れてもらうことで、退屈することなく参加することができました。来年も継続して開催したいと思います。